経営比較分析表（平成30年度決算）

佐賀県伊万里・有田地区医療福祉組合　伊万里有田共立病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	**診療科数**	**DPC対象病院**	**特殊診療機能　※１**	**指定病院の状況　※２**
直営	22	対象	ド 訓	救 臨 感 災 地 輪
人口（人）	**建物面積（㎡）**	**不採算地区病院**	**看護配置**	
-	17,283	非該当	７：１	

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（結核）
202	-	-
許可病床（精神）	**許可病床（感染症）**	**許可病床（合計）**
-	4	206
稼働病床（一般）	**稼働病床（療養）**	**稼働病床（一般＋療養）**
202	-	202

グラフ凡例
- ■　当該病院値（当該値）
- ー　類似病院平均値（平均値）
- 【】　平成30年度全国平均

※１　ド…人間ドック　透…人工透析　Ｉ…ＩＣＵ・ＣＣＵ 未…ＮＩＣＵ・未熟児室　訓…運動機能訓練室　ガ…ガン（放射線）診療
※２　救…救急告示病院　臨…臨床研修病院　が…がん診療連携拠点病院　感…感染症指定医療機関　へ…へき地医療拠点病院　災…災害拠点病院　地…地域医療支援病院　特…特定機能病院　輪…病院群輪番制病院

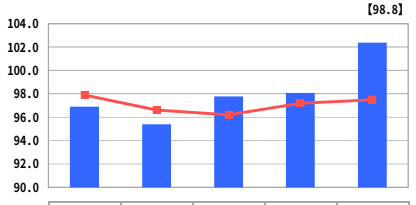
公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）

再編・ネットワーク化	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
平成23 年度	- 年度	- 年度

1．経営の健全性・効率性

①経常収支比率(%)

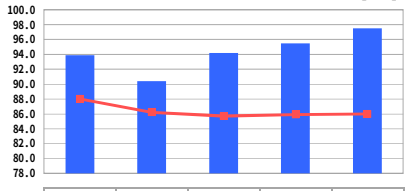
【98.8】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	96.9	95.4	97.8	98.1	102.4
平均値	97.9	96.6	96.2	97.2	97.5

②医業収支比率(%)

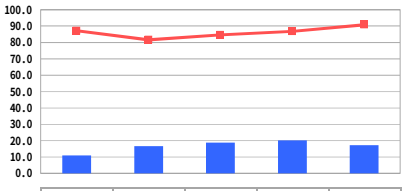
【89.7】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	93.9	90.4	94.2	95.5	97.5
平均値	88.0	86.2	85.7	85.9	86.0

③累積欠損金比率(%)

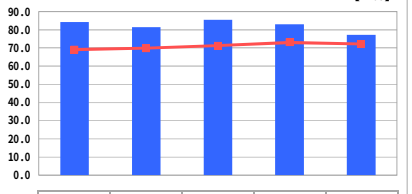
【64.1】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	11.0	16.8	18.8	20.2	17.2
平均値	87.1	81.6	84.7	86.8	90.8

④病床利用率(%)

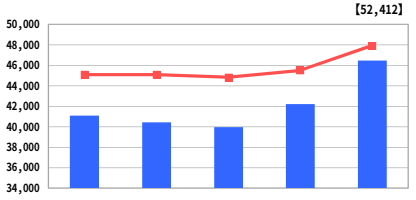
【74.9】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	84.3	81.5	85.5	83.0	77.3
平均値	69.1	69.8	71.2	73.0	72.1

⑤入院患者１人１日当たり収益(円)

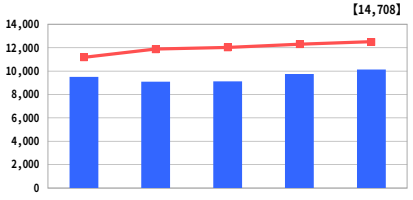
【52,412】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	41,091	40,431	39,952	42,199	46,457
平均値	45,099	45,085	44,825	45,494	47,924

⑥外来患者１人１日当たり収益(円)

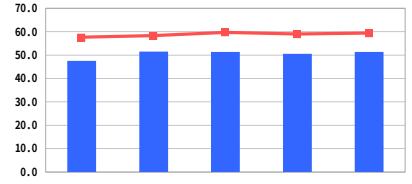
【14,708】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	9,497	9,087	9,127	9,748	10,152
平均値	11,173	11,881	12,023	12,309	12,502

⑦職員給与費対医業収益比率(%)

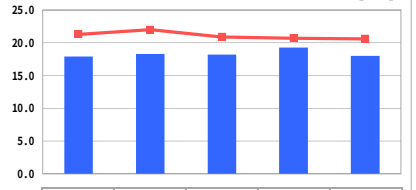
【54.8】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	47.5	51.5	51.4	50.6	51.4
平均値	57.6	58.3	59.7	59.0	59.4

⑧材料費対医業収益比率(%)

【24.3】

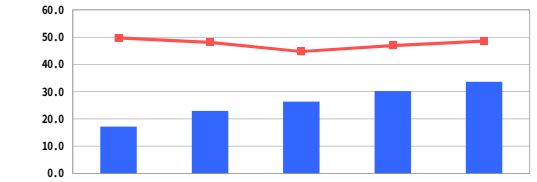


	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	17.9	18.3	18.2	19.3	18.0
平均値	21.3	22.0	20.9	20.7	20.6

2．老朽化の状況

①有形固定資産減価償却率(%)

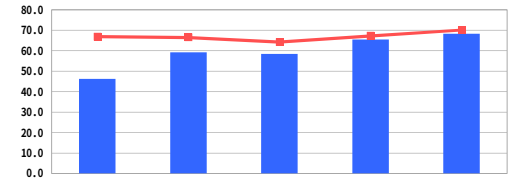
【52.5】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	17.2	23.0	26.4	30.3	33.6
平均値	49.7	48.1	44.7	46.9	48.6

②器械備品減価償却率(%)

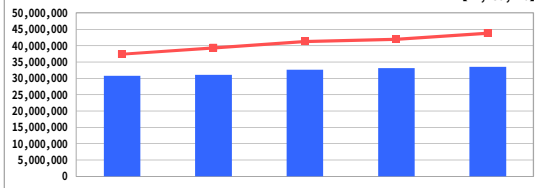
【68.8】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	46.3	59.2	58.5	65.6	68.3
平均値	66.9	66.5	64.2	67.3	70.1

③１床当たり有形固定資産(円)

【47,139,449】



	H26	H27	H28	H29	H30
当該値	30,818,160	31,056,617	32,660,107	33,103,214	33,563,282
平均値	37,367,806	39,301,664	41,260,555	41,975,086	43,785,070

※「類似病院平均値（平均値）」については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

Ⅰ 地域において担っている役割

①佐賀県西部地域の地域医療支援病院として、急性期医療などの質の高い医療を提供する役割
②安心安全で受診できる地域住民のための病院としての役割
③患者の紹介・逆紹介や高度医療機器の共同利用、診療情報伝達システム等を活用し、地域における病病・病診の医療連携を強化する役割
④地域の医療従事者の資質の向上を図るため研修会等を開催し、地域医療の充実を担う役割
⑤災害拠点病院として、災害発生時における医療救護活動及び県等の要請による医療救護班を派遣する役割

Ⅱ 分析欄

1．経営の健全性・効率性について

DPC導入による医業収益の増、構成市町の繰出基準と国の繰出基準が同等となったことによる医業外収益の増により、経常収益が増となった。
また、ベンチマークシステム活用による適正価格での購入を図るなど経費削減に取り組んだ。（材料費対医療収益比率がH29と比較して1.3%減）
以上のことから、今年度は開院以来初の経常黒字（経常収支比率100%以上）となった。

2．老朽化の状況について

平成24年3月に新病院として開院し、経過年数がまだ7年であるため、有形固定資産減価償却費率（老朽化の度合い）は低い。
しかし、器械備品減価償却率は、類似病院平均値との差がなくなりつつあり、これは器械備品の法定耐用年数が概ね5～6年の資産が多いため、保有資産の更新時期にあることを示している。
よって、今後は、器械備品等の更新を計画的に実施していく予定である。

全体総括

DPC導入、繰出基準見直し、ベンチマークシステム活用等により、開院以来初の経常黒字となった。
今後は、DPC対象病院として、医療の質を様々な方向から検証し、また、より効率的な治療を行うことで健全な病院運営を目指すとともに、伊万里有田共立病院新改革プラン(平成30年度改定)に基づき、病床稼働率80%以上を目指し、安定的な経営に取り組んでいきたい。また、職員が一丸となって経営改善に取り組み、伊万里市及び有田町が共同運営する中核病院として総合的な医療環境の充実を図り、西部医療圏における医療機関同士の連携、医療資源の効率的運用などにより、地域住民が安心して生活できるよう、地域医療支援病院としての確立を目指していく。